

平成29年度事業報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

福祉住環境コーディネーター協会

総括的概要

福祉住環境コーディネーター協会は平成14年5月、東京商工会議所が中心となって設立され、今年5月で丸16年、新年度で17年目を迎えた。会員は全国のFJC（福祉住環境コーディネーター検定試験合格者）約5,650名、全国各地のNPOや団体との協力・連携のもと、FJCの知識・技能の向上、個人や組織のネットワーク化、FJCの社会的認知の向上などを目的に多彩な事業を展開している。

平成29年度は、年間を通じて「スキルアップセミナー」（42回）、「見学会」（10回）、「タウンミーティング」（14回）を全国規模で展開した（全66回）。また「国際福祉機器展」（東京・10月）をはじめ、大阪市（4月）、北九州市（11月）の各総合福祉展に協賛、一般来場者も参加できる「公開セミナー」を実施、広くFJC協会のPRを行なった。

また、平成29年10月、「FJC検定合格者と会員との集い」を開催、「介護保険の最新動向」レポート、「住まいの整備から地域づくりまでの活動事例～FJC（福祉住環境コーディネーター）がより輝くために」のミニ・シンポジウムを開催、併せて参加者による情報交換会を実施した。

年度末3月には「第5回福祉住環境サミット」（大阪）の開催支援を行い、研究者や専門家、FJCなどが福祉住環境整備に関する活動や意識を共有する場の実現に協力した。また、全国各地の関連団体が実施するFJC関連の事業について後援を行い、広報等の支援を行った。

「介護保険の住宅改修理由書に関するアンケート調査」（全国1,763自治体、7月）では、「FJC2級以上に住宅改修理由書の作成を認めている」自治体の割合（認定率）は69.0%となった。調査結果を会員・自治体に情報提供、改めて各自治体にFJCに対する理解、協力を求めた。

広報では情報誌「FJC」を発行（年3回）、「介護保険制度はどう変わるのか」、「高齢者のための『食』支援を考える」、「シリーズ：健康寿命の延伸のために」ではロコモ高齢者の健康づくりやフレイル予防を取り上げ、FJCのための実践的な知識に関する情報提供を行った。「FJCメールマガジン」（毎月25日配信）では協会の動き、全国の各種事業などの最新情報を伝えた。また、「協会ホームページ」で協会や関係団体等の事業等の情報提供のほか、会員からの情報発信の場を提供するなど双方向型のコミュニケーションに努めた。

I 会 員

・ 会員数

1) 5, 676名

(会 員 5, 651名 賛助会員25件 平成30年3月31日現在)

個人会員 内 訳 1級合格者 69名

2級合格者 4,938名

3級合格者 644名

2) 4月初旬、全会員に「会員証(平成28年度)」(毎年度、氏名及び会員ID番号付、ラミネート加工)を郵送

II 事 業

1 研修事業

別表 P11～12参照

1) スキルアップセミナー(応用知識の学習等)

2) 開催: 4月～3月 全国7都市・42コース

参加者総数 227名

2 見学会事業

別表 P13参照

1) 福祉用具等展示場、介護・福祉施設等の見学

2) 開催: 4月～3月 全国10箇所

参加者総数 79名

3 交流事業・タウンミーティング

別表 P14参照

1) 基調講演、事例発表、ゲストとの交流・意見交換等

2) 開催: 4月～3月 全国13都市・14回

参加者総数 707名

4 広報活動

1) 情報誌「FJC」

① 情報誌「FJC」の発行(年3回: 6,300～8,000部)

<発行時期と主な内容>

【第44号(6月下旬)】

第4回福祉住環境サミット<福祉はもっと自由になれる。福祉の概念を広げ、多方面にネットワークをつなげよう>開催概要、介護・医療保険における高齢者の自己負担の引き上げ、FJCの多職種連携に向けた団体訪問「一般社団法人全国福祉専門相談員協会」ほか

【第45号(10月下旬)】

特集企画<高齢者の「食」支援を考える～今求められる地域の取り組み>、

健康寿命の延伸に向けてF J Cができること～市民活動を通じたフレイル予防（飯島勝矢氏）、介護保険改正・改定前夜、＜特別寄稿＞家具の転倒防止活動とF J C（児玉道子氏）ほか

【第46号（平成30年2月下旬）】

特集企画＜平成30年4月以降、介護保険はどう変わるのか＞、健康寿命の延伸に向けてF J Cができること～ロコモ高齢者に向けた運動による健康づくり（鳥井 俊氏）、F J Cの現場最前線～建築分野に足場を置きながら、広い視野でF J Cのネットワークを広げる＜岐阜県 永松 光氏）ほか

＊特別連続掲載

「ケーススタディ 高齢者・障害者のための住環境づくり」

第44号 齊藤建築 代表 齊藤 一修 氏

第45号及び第46号 （有）地域住環境研究所 代表 福井 義幸 氏

- ② 全国の都道府県・市町村及び関係機関へ情報誌「F J C」を郵送して、協会及びF J C検定をPRするとともに、「介護保険・住宅改修理由書に関するアンケート」結果を報告、改めて住宅改修理由書の作成者としてF J C 2級以上を認めるよう自治体に対して広く理解を求めた。（11月）。

2) 「協会ホームページ」の運営

- ①HPは「セミナー、見学会、タウンミーティング」、「後援・協賛」、「全国の活動グループ」、「検定試験情報」、「協会について」などの構成・内容で会員等に情報提供。
- ②ホームページの運営（アクセス数年間 119, 697件、9, 974件／月）。年間を通して「セミナー、見学会、タウンミーティング」、次いで「検定試験情報」、「会員募集・特典」、「後援・協賛事業」等へのアクセスが多かった。
- ③「会員専用ホームページ」では、「会員のPRの場（ホームページでの情報発信）」へのアクセスが多い。ほか「メールによるF J C相談」、「介護保険・住宅改修理由書に関するアンケート」の自治体別の調査結果、情報誌「F J C」バックナンバー（創刊号～最新号）、メルマガバックナンバーの閲覧サービスの順となっている。
- ④F J Cモバイル（携帯サイト）の運営 38件（4月～3月）
- ⑤東京商工会議所の公式HP「福祉住環境コーディネーター検定試験」コーナー等に、協会のHPをリンク、受験関係者等に普及を進めている。

3) 「メールマガジン」の発行

- ①毎月25日(年12回)、メールアドレスを登録した会員向けに配信
- ②主な内容:当協会からのお知らせ、各種研修事業(スキルアップセミナー、見学会、タウンミーティング等)の案内、全国の活動団体の活動報告と事業予定、福井義幸理事からの連続寄稿「心地良い暮らしをサポートする」等
- ③29年度有効配信数(3月末)33,181件、3月度の有効配信数2,819件。

4) その他

- ①「福祉住環境コーディネーター検定試験(東京商工会議所)」の1級~3級の合格者に検定試験の「成績票」と併せて、「福祉住環境コーディネーター協会」のご案内及び「協会ご入会のお勧め」(事業案内、ご入会手続き等)を送付(8月、1月の年2回)、FJC協会への入会を促す。
- ②全国各地で開催されるタウンミーティング(一般公開、29年度は13都市・14回)、理事関与の関係団体、協力団体等の会合・イベント・催事等において、「福祉住環境コーディネーター協会のご案内」を配付、協会への理解と入会を促す。

5 調査

◇平成29年度「介護保険・住宅改修支援事業における住宅改修理由書に関する自治体アンケート」調査

全国の基礎自治体(但し「区」については東京特別区のみ、政令指定都市の「区」を除く)1,763件に対し、「住宅改修の理由書の作成を認めている職種」につきアンケート調査を7月に行った。

結果として、アンケートに回答した自治体は564件、そのうち「福祉住環境コーディネーター2級以上の取得者に理由書の作成を認めている」とした自治体は389件で、回答数に占める認定率は69.0%であった。

なお、29年度は未回答ながら、28年度に「福祉住環境コーディネーター2級以上に理由書の作成を認めている」と回答した自治体は158件であった。

調査結果を「協会ホームページ」の「会員専用ページ」で会員に情報提供するとともに、各自治体にも郵送し、「福祉住環境コーディネーター」、「同検定試験」について改めて理解と協力を求めた(*)。

(*)「介護予防・生活支援事業の実施についての一部改正について」

(平成12年12月18日、老発第833号、厚生省老人保健福祉局長)

住宅改修支援事業の留意事項として、「介護支援専門員又は作業療法士、福祉住環境コーディネーター検定試験2級以上その他これに準ずる資格等を有する者など、住宅改修について十分な専門性があると認められる者が、・・・(住宅改修費)の支給の申請に係る理由書を作成した場合について、これを市町村の委託事業又

は市町村助成事業として、本メニュー（住宅改修支援事業）の対象事業とすることができる。なお、その場合の単価は、1件当たり2,000円とする。」（平成13年1月1日から適用）

6 国際福祉機器等展示会協賛の一般公開セミナー

1) 「バリアフリー2017（大阪）」協賛一般公開セミナー

日 時 4月21日（金）午後3時～4時30分

場 所 インテックス大阪6号館「会議室F」

出席者数 76名

内 容 「＜F J C水曜塾＞と共生社会への取り組み

～住宅改修失敗事例検討会と家具等の転倒防止対策」

講 師：一般社団法人 わがやネット 代表理事 児 玉 道 子 氏

・質疑応答、意見交換、F J C協会について

2) 「福祉用具の日（10月1日）」協賛一般公開セミナー

（共催 一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会）

日 時 9月27日（水）午後3時15分～4時45分

場 所 東京ビッグサイト 会議棟1階「101」

出席者数 53名

内 容 「福祉住環境整備とケアマネージャーとの連携」

講 師：ケアタウン総合研究所

代 表 高 室 成 幸 氏

・質疑応答、意見交換、F J C協会について

3) 「第19回 西日本国際福祉機器展」協賛一般公開セミナー

（共催 NPO法人福祉用具ネット、福祉用具プラザ北九州）

日 時 ① 11月16日（木）午後2時～4時

② 11月17日（金）午前10時30分～12時30分

場 所 西日本総合展示場（北九州市小倉）会場内セミナーブース

出席者数 ① 145名 ② 95名

内 容 ① 「腰痛予防からケアの質を考える

～ノーリフトで介護の質がどう変わるか、という概論と実技」

② 「ノーリフトでコミュニティを考える

～講師のコーディネートによるノーリフトケアの実践報告」

講 師：一般社団法人 日本ノーリフト協会

代表理事 保 田 淳 子 氏

協 力：特別養護老人ホーム ふじの木園（北九州市）、戸畑けんわ病院
（北九州市）、障害者支援施設 ひばり～ヒルズ（大分県日田市）

・質疑応答、意見交換、F J C協会について

7 「福祉住環境コーディネーター検定試験合格者と協会会員の集い」

- ・ 日 時 平成29年10月14日（日）午後2時～4時30分
- 場 所 新宿住友スカイルーム47階「Room1」
- 出席者数 63名（うち新規FJC検定合格者15名）
- 内 容 第1部 報告「介護保険の『いろは』と最新動向」
FJC協会 鵜田 一夫 理事
- 第2部 講演「FJCがより輝くために！」
～住まいの整備から地域づくりまでの活用事例」
一般社団法人 わがやネット 代表理事 児 玉 道 子 氏
- 第3部 FJCの役割・課題等をテーマに情報交換・交流会

8 「第5回 福祉住環境サミット」の開催支援

- 主 催 一般社団法人 福祉住環境アソシエーション、非営利活動法人 ユニバーサルデザイン推進協会
- 共 催 福祉住環境コーディネーター協会、大阪大学老年学研究会、NPO法人ラブとよネットほか
- 日 時 平成30年3月17日（土）～18日（日）
- 場 所 大阪大学（豊中キャンパス）（大阪府豊中市）
- 参加者数 第1日 262名 第2日 802名 合計 1,064名
- テーマ 「福祉はもっと、自由になれる。～みんなで考えよう、未来の日本！！
10年後の暮らしは、今の延長線上にはない」

主な内容 【第1日 3月17日（土）】

- (1) 基調講演1 「超高齢社会に必要な生活総合オーベルジュ」
～CBMCヘルスケアイノベーションIWAOモデル」
講 師：京都大学特定教授・医師 岩 尾 聡 士 氏
- (2) 基調講演2 「これからの地域の仕組みを考える～連携、協働の必要性」
講 師：厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）
社会保障担当参事官室 政策企画官 野 崎 伸 一 氏
- (3) 福祉住環境アワード
 - ① 住環境整備部門優秀賞
株式会社 ハート工夢店
「住宅改修事例～ひとりでお風呂にはいたい」
 - ② 住まいづくり部門優秀賞
大阪長屋の保全活用とネットワーク形成に関する研究
（公益財団法人 アーバンハウジング委託事業）

③ まちづくり部門優秀賞

「高知型タウンモビリティ～誰もが、出かけた場所へ出かけられることが当たり前のまちへ～」

④ 地域づくり部門優秀賞

学生と企業、行政のコラボレーション（八幡市 男山団地）
～みんなの居場所、365日オープンの奇跡～

(4) クロスコミュニケーション交流会

・福祉住環境を中心テーマにさまざまジャンル、世代を超えた参加者によるネットワークづくりのための交流会

【第2日 3月18日（日）】

(1) 6セッション、それぞれメイン・テーマが設けられ、各3テーマ、計18のセッションラウンジ（参加型セッションを含む）が展開された。

<セッション1>

色・音・アートの効果と可能性（いつまでも元気に暮らす）

・「色彩心理を活用した心のケアでいつまでも元気に」

（一社）日本色彩環境福祉協会他、ほか2テーマ

<セッション2> 福祉用具・福祉機器（福祉用具で変わるQOL）

・「拘縮は日本だけ？福祉用具が日本を救う！」

（一社）こうしゅくゼロ推進協議会 代表理事 石橋 弘人氏
ほか2テーマ

<セッション3> 認知症住環境整備（認知症でも地域で暮らす）

・「認知機能低下に対する住宅改造アドバイザーの関わり」

（特活）福祉住環境ネットワークこうち

理事長 笹岡 和泉氏 ほか2テーマ

<セッション4> IoTの可能性（少子高齢化をIoTの力で）

・「後期高齢者にIoTボタンを提供し、イノベーションモデルで地域共生社会を実現する」

株式会社ナスカ 代表取締役 井上 昌宏氏 ほか2テーマ

<セッション5> 認知症を理解する（認知症でも共存できる地域のために）

・「コミュニケーションから捉える認知症者のこころの世界」

京都府立医科大学特任教授 大庭 輝 氏 ほか2テーマ

<セッション6>

多職種地域連携（地域課題を「職種・立場」の枠を超えて）

・「ショッピング・リハビリで街を元気に～島根県雲南市の実践例」

光プロジェクト株式会社 代表取締役 杉村 卓哉 氏
ほか2テーマ

- (2) 全体シンポジウム「10年後の日本の暮らしを考える」
(登壇者) 吉永美佐子氏、佐藤眞一氏、川瀬健介氏、松尾清美氏、
江草典政氏、芳村幸司氏 (コーディネーター)

9 後援等

- 1) 4月1日～9月30日 「福祉住環境コーディネーター実践塾 (6か月間)」
主 催：地域住環境研究所
開催地：神奈川県伊勢原市
- 2) 7月1日「第1回福祉住環境住宅改修セミナー」<後援>
主 催：あいち福祉住環境研究会
開催地：愛知県名古屋市
- 3) 10月6日～7日 「2017 いきいき健康まつり」<後援>
主 催：社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション事業団
開催地：香川県高松市
- 4) 10月18日～20日 「Care TEX 関西2017」<後援>
主 催：ブティックス株式会社
開催地：大阪府大阪市
- 5) 平成30年1月27日 「たかつきFJC設立1周年記念セミナー」<後援>
主 催：高槻福祉住環境コーディネーター連絡協議会
開催地：大阪府高槻市
- 6) 平成30年3月14日～16日 「第4回Care TEX2018」<後援>
主 催：ブティックス株式会社
開催地：東京都江東区

III 会 議

1 総 会

- 日 時 5月25日 (木) 午後2時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル3階「会議室」
出席者数 85名(本人出席、他にFAX・メールによる委任状 523名)
議 件 1) 平成28年度事業報告 (案) および収支決算 (案) について
2) 平成29年度事業計画 (案) および収支予算 (案) について
3) その他
報 告 1) 平成29年度役員について
2) 福祉住環境サミットについて
3) その他
記念講演 「介護保険改正と福祉用具・住宅改修の動向」

講 師 厚生労働省老健局高齢者支援課
福祉用具・住宅改修指導官
ロボット開発普及推進官 小 林 毅 氏

2 理事会

(1) 通常理事会

日 時 5月12日(金)午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル3階「会議室」
出席者数 19名
議 件 1) 平成28年度事業報告(案)について
2) 同 収支決算(案)について
3) 平成29年度事業計画(案)について
4) 同 収支予算(案)について
5) 役員の変更等について
6) その他
報 告 1) 福祉住環境サミットについて
2) その他
意見交換 ・「ハードケアマネージャー」としての専門性を高める講習と認定制度の提案について

(2) 臨時理事会

日 時 平成30年2月15日(木)午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル5階「会議室」
出席者数 14名、委任状7名、計21名
議 件 1) 平成31年3月をもって協会を解散する件
2) 今後の予定について
3) その他

3 運営委員会

(1) 日 時 12月14日(木)正午～午後2時
場 所 丸の内二丁目ビル3階「会議室」
出席者数 7名
協議事項 1) 協会の解散について
2) 今後の予定について
3) その他

(2) 日 時 平成30年1月19日(金)午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル5階「会議室」
出席者数 7名

- 協議事項 1) 協会の解散、その後の事業の取り扱いについて
2) 今後の予定について
3) その他

4 編集委員会

① 情報誌「F J C」第44号初校編集会議

日 時 5月30日(火) 午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル 会議室
出席数 11名

② 情報誌「F J C」45号企画編集会議

日 時 7月27日(木) 午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル 会議室
出席数 10名

③ 同上 初校編集会議

日 時 9月21日(木) 午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル 会議室
出席数 10名

④ 情報誌「F J C」第46号企画編集会議

日 時 12月5日(火) 午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル 会議室
出席数 9名

⑤ 同上 初校編集会議

日 時 1月29日(月) 午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル 会議室
出席数 10名

⑥ 情報誌「F J C」第47号企画編集会議

日 時 3月28日(水) 午後3時～5時
場 所 丸の内二丁目ビル 会議室
出席数 10名

以上